

事例番号	H24-2	事故分類	死傷公衆
工事名	旭山動物園大型草食獣館(仮称)カバ棟新築工事		
事故発生状況	工食用ゲート前で工事現場への入場を待機していたダンプが、入場の際、一旦バックして進入しようとしたところ、後方に停車中の乗用車に衝突した。 乗用車の運転手は頸椎捻挫で1週間の投薬・安静療養。		
事故原因	バックの際、後方確認を怠ったこと。 登り坂でのバックの際、ギアをニュートラルでバックしたため、バックランプの点灯及び警告音が鳴らなかった。 誘導員がゲートの開閉及び車両整理に追われ、後方車両を把握できなかった。		
事故発生後の措置	事故当日に工事関係者全員で災害協議会を開くとともに、請負JVで安全管理グループを含め安全対策協議会を開催。 工事ゲート前の誘導員を2名に増員。 場内の入退場車両の経路を区別するとともに、場内での待機を可能とし、前面道路で待機・停止しないこととした。		
事故概要図			

